

各 位

上場会社名	株式会社 創通
代表者	代表取締役社長 青木 建彦
(コード番号)	3711)
問合せ先責任者	専務取締役管理本部長 出原 隆史
(TEL)	03-3248-0311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年10月6日に公表した平成24年8月期の第2四半期業績予想(連結・個別)及び通期業績予想(連結・個別)について、下記の通りそれぞれ修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	980	1,000	500	63.14
今回修正予想(B)	8,500	1,580	1,600	820	103.55
増減額(B-A)	1,000	600	600	320	
増減率(%)	13.3	61.2	60.0	64.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年8月期第2四半期)	7,090	905	938	437	53.38

平成24年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,700	1,860	1,900	1,030	130.07
今回修正予想(B)	17,200	2,160	2,200	1,150	145.23
増減額(B-A)	500	300	300	120	
増減率(%)	3.0	16.1	15.8	11.7	
(ご参考)前期実績 (平成23年8月期)	15,120	1,724	1,757	932	115.11

平成24年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	810	450	56.83
今回修正予想(B)	7,500	1,270	680	85.87
増減額(B-A)	1,000	460	230	
増減率(%)	15.4	56.8	51.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年8月期第2四半期)	6,103	671	391	47.74

平成24年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,300	1,770	1,000	126.29
今回修正予想(B)	15,800	1,970	1,080	136.39
増減額(B-A)	500	200	80	
増減率(%)	3.3	11.3	8.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年8月期)	13,637	1,518	899	111.13

- (注) 1. 平成24年8月期の1株当たり当期(四半期)純利益につきましては、本日付で発表いたしました平成24年2月27日実施予定の自己株式200,000株の消却を勘案した数値となっております。
2. 1株当たり当期(四半期)純利益につきましては、平成23年3月1日付で実施致しました1株につき2株の株式分割を勘案した数値となっております。

修正の理由

(第2四半期連結会計期間)

当第2四半期連結会計期間(平成23年9月1日から平成24年2月29日)は、中核事業であるテレビアニメーション番組のプロデュース事業及びキャラクターグッズの販促・プロモーション事業が順調に推移し、さらに、「ガンダム」シリーズに係る家庭用ゲームソフト、アーケードゲーム、ソーシャルゲームがいずれも好調に推移したことから当該著作権収入が予想を上回り、売上高が増加する見通しです。

また、上記売上高の増加に加え、アニメ映画の公開が後倒しとなったこと等によりコンテンツ投資の償却額が大きく減少したこと、子会社株式会社ジェイ・ブロードの新卒採用広告収入が12月に集中したこと等、利益が前倒しとなる要因が重なり、営業利益、経常利益、当期純利益がそれぞれ増加する見通しです。

(通期)

当社グループの業績は、第3四半期以降もテレビアニメーション番組のプロデュース事業を中心に堅調に推移することを予想しており、前倒しとなった売上・利益の要因を差し引いても、通期の業績は当初予想を上回る見通しとなり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益について修正を行うものであります。

以上